

地域再生計画〔地域再生基盤強化（道整備）交付金〕事後評価調査

都道府県名	島根県	事業実施主体	島根県、松江市	地域再生計画名	松江市「松江市北部地域再生計画」
計画期間	平成22年度～平成26年度	評価責任者	島根県松江県土整備事務所農林工務部長、松江市都市整備部管理課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	道路整備により惣津地区から市役所・病院等までのアクセス改善	44分	H21	43分	H25	43分	43分	H26	43分	○	市道整備の施策の効果により、目標値を達成できた。
	指標2	道路整備により上本庄地区から市役所・病院等までのアクセス改善	25分	H21	24分	H25	24分	24分	H26	24分	○	市道整備の施策の効果により、目標値を達成できた。
	指標3	林道整備による集落間のアクセス改善（雲津地区～軽尾地区）	17分	H21	8分	H25	16分	8分	H26	16分	×	林道工事の施工時期が猛禽類保護のために制限されたことにより計画どおりの林道整備が進まず、市道整備の施策による一部効果を除き、現状では目標を大きく下回った。
	指標4	林業の振興（間伐実施面積の10%増）	- (30ha)	H21	110% (33ha)	H25	43% (13ha)	110% (33ha)	H26	127% (38ha)	○	林道整備、路網整備及び森林施業の集約化・合理化などの施策の効果により、目標値を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1											
	指標2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度 (H25)	最終実績							
	特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	0.486km	0.494km	0.494km	整備が計画どおり完了した。今回の拡幅や線形改良などの整備により集落から主要施設や幹線市道へのアクセスが改善し、進入が困難であった緊急車両の通行も容易となり、また、市街地へのアクセス時間が短縮されたことで安心・安全な住環境の構築に寄与した。						
		林道整備事業（整備延長）	3.610km	3.417km	3.803km	設計見直しやコスト縮減などで事業の進捗を図ったが、改築計画区間変更などによる計画総延長増や林道工事の施工時期が猛禽類保護のために制限されたことにより施設整備が計画どおり進まず、現状では目標が達成できなかった。整備した林道の周辺では森林等への進入が容易となり、今後、荒廃森林の整備、利用間伐の促進が期待できる。また、林道の一部が津波災害時の避難路・避難地として利用でき、住民の安全・安心にも繋がると考えている。						
	その他の事業	「市産木材活用事業」によるシステムづくり	「市産木材活用事業」により地域材供給システムのための林業・木材産業の組織化や施設整備等の仕組みづくりを進める。			森林施業の集約化、合理化への仕組みづくりの促進を図った。利用間伐等促進のために木材生産団地化と併せて、森林所有者の共同による効率的・効果的な間伐の実施、路網の整備、森林施業の集約化や高性能林業機械の導入等による施業の合理化など、地域材供給システムの構築を目指した。						
「木材生産団地」の設定		「木材生産団地」を設定し、作業道等を整備して利用間伐等を積極的に行い、地域住民の所得向上を図る。			木材生産団地12団地、面積5,248haの設定を行った。森林施業の集約化を図るために木材生産団地化を推進し、森林所有者の共同による施業の合理化を進め、間伐材の利用などの促進、林業の振興を図った。							
県道松江鹿島美保関線の改良		国土交通省の地方道事業を活用し、県道松江鹿島美保関線の改良を進める。			計画的に線形改良、幅員拡幅及び歩道整備等の施設整備を進めた。主要な幹線道路の施設整備であり、沿線地域の産業・経済・地域住民の生活安定などの向上に繋がると考えている。							
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	松江市北部地域再生計画事後評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。											
⑤事後評価の公表方法	松江市政策部政策企画課のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に実施し、市道整備では整備段階に合わせた予算措置が実施できたため、アクセス改善など安心・安全な住環境の構築効果を概ね発現してきたと考えている。一方、林道整備では林業の振興（間伐実施面積の増加）とアクセス改善を期待したが、計画策定時に想定していなかった猛禽類の保護対策による施工制限などにより林道整備が計画どおり進まず、目標達成とまでは至らなかった。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画の施設整備によりアクセス改善等も含め目標をほぼ達成し、松江市北部地域の再生・向上が図られると考えている。また、引き続き次期地域再生計画を策定し、更なる森林整備の増など林業の振興のため林道整備などを取り入れ、地域再生施策を一層強化していきたいと考えている。											